allcinema

父と暮せば（2004）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　戦争
製作国　日本
色彩　Color
時間　99分
初公開日 2004/07/31
公開情報 パル企画

【キャッチコピー】
おとったん、
ありがとありました。

【解説】
　戦後の広島で、原爆から独り生き残った後ろめたさから自らの幸せを拒否して生きる娘と、幽霊となり彼女の恋を懸命に後押しする父との４日間の交流を優しく綴ったヒューマン・ドラマ。井上ひさし原作による名作舞台を映画化。「TOMORROW　明日」「美しい夏キリシマ」に続く黒木和雄監督の“戦争レクイエム三部作”完結編。主演は宮沢りえと原田芳雄。共演に浅野忠信。
　昭和20年8月6日、午前8時15分、広島に原子爆弾が投下された。それは一瞬にして多くの命を奪った。３年後の広島。図書館に勤める美津江も、愛する人たちを原爆で失い、自分だけが生き残ったことに負い目を感じながらひっそりと暮していた。そんな彼女はある日、図書館で一人の青年、木下と出会う。２人は互いに惹かれるものを感じるが、美津江は“うちはしあわせになってはいけんのじゃ”と自らの恋心を必死で押さえ込んでしまう。見かねた彼女の父・竹造は幽霊となって姿を現わし、“恋の応援団長”を名乗り懸命に娘の心を開かせようとするのだが…。

【クレジット】

監督	黒木和雄	
製作	石川富康	
	川城和実	
	張江肇	
	金澤龍一郎	
	松本洋一	
	鈴木ワタル	
企画	深田誠剛	
プロデューサー	河野聡	
	木谷奈津子	
	桑島雅直	
	奈良聡久	
	大橋孝史	
原作	井上ひさし	『父と暮せば』（新潮社刊）
脚本	黒木和雄	
撮影監督	鈴木達夫	
美術	安宅紀史	
美術監督	木村威夫	
衣装デザイン	宮本茉莉	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

編集	奥原好幸		
音楽	松村禎三		
録音	久保田幸雄		
照明	三上日出志		
ＶＦＸプロデューサー	大屋哲男		
助監督	水戸敏博		
出演	宮沢りえ		美津江
	原田芳雄		竹造
	浅野忠信	Tadanobu Asano	木下正

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.